

【国東市教育委員会教育長賞】

税は必要不可欠

国東市立安岐中学校 三年 安部 萌々香

私たちは、いろんな形で税金を払っている。けれど、私はまだ中学生。だから、そんなに関わることはないと思っていた。正直、税は難しそうであまり興味を持ってこなかった。この税についての作文を書くという機会に、今まで疑問に思っていたことや、気になってはいたが調べてこなかったことなど、詳しく調べてみることにした。

まず、そもそも税金とはなにかを調べてみた。国や都道府県、市区町村では、私たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできないさまざまな仕事、公共サービスなどをしてしている。その費用は、国民みんなで出し合っている。これを税金というらしい。税金という言葉の意味自体、ざっくりしか知らなかったけれど、しつかり知ることができた。

次に、国民みんなで出した税金を国はどう使っているのかつまり、国の税金の使い道を調べてみた。国の税金の使い道で一番多いのは、社会保障だ。社会保障というのは、国が国民の生活を支えるためにつくられた制度で、年金、医療費、介護、子育てなどがある。まとめると、子どもから子育て世代、お年寄りまで、全ての人々の生活を生涯にわたって支えるものなのである。二番

目に多いのは、国の借金を返すことや、借金の利子を払うためのお金で国債費という。三番目に多いのは、都道府県や市町村へ配るお金で地方交付税交付金という。四番目に、私たちが学校で使う教科書などの学校生活に関するものや人工衛星、スーパーコンピュータの開発などの教育や科学技術、五番目には、道路や橋、港、ダム、河川の整備などの公共事業のためのお金にもたくさん税金が使われている。こんなに、いろいろな場面で税金が使われていることに、とてもおどろいた。

最後に、こんなにもたくさんのお金で使われている税金だが、そんな税金というものが、なくなってしまうたら、どんな社会、どんな生活になってしまうのだろうかという疑問が残った。私たちの身近で、税金がなくなると、どうなるか調べてみると、八つほどの例が挙がっていた。いくつか紹介しよう。一つ目、勉強を教えてくれる人がいない。二つ目、教科書代や授業料を自分で負担するため、家計の負担が増える。三つ目、ゴミ収集車が来ないため、ゴミが街にあふれ不衛生になる。四つ目、道路や橋が壊れても修理できない。五つ目、火事や急病になっても消防車や救急車が来ない。犯罪の取り締まりが行われず、治安が乱れる。残り二つも、私たちが生活していくのに必要で重要なことだと思った。ここで紹介したこと以外にも、税金がなくなってはならない理由がたくさんあると思う。けれど、自分で調べて知ること、気づいていなかったことに気づけたり、疑問に思っていたことが解決する。なにより、税がどんなに大切か、私自身、知ることが、理解することができて、本当によかったと思っている。